

平成23年度 第4回社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成24年1月16日(月) 10:00~12:00
II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
III. 出席者: 前田委員(ネット) 渡辺委員 井上委員(ネット) 天野アドバイザー
(事務局) 井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 事務局より、理事会でPDCAのサイクルを回すための仕組みが必要だとの指摘があった。それにえ、教育改善モデルを教員が連携して点検・評価・改善していくための基準を4~5行で表現していただきたいとの説明がなされた。

授業モデル(その1)について

専門・関連科目との連携の中で常に動機づけや態度・分析視点が身に付いたかを点検し、評価して改善につなげる。

授業モデル(その2)について

ソーシャルワークの目的・価値・倫理の概要を理解させることができたかを点検し、評価して改善につなげる。

2. 具体的な議論に入り、委員から以下のような意見が出された。

- ・到達目標1にある、『社会福祉の意義と機能』とは、資格試験ではないのだが、学生の受け止め方は違う。教員とのマッチングができていない。
- ・学生の態度や分析視点は試験で確認できるが、専門・関連科目との教員とはどのように確認するのか。
- ・現状では実習後の実習報告会で関係者などを交え意見交換を行っているが、真の声が出てきていないのではないか。真の情報を共有するには、第3者機関を交えて交流する仕組みが必要ではないか。
- ・関連科目(例えば心理学や社会学など)と連携した授業を行い、振り返りをしていくことが大切ではないか。
- ・評価シートや学習ポートフォリオを書かせ、関連科目の教員と情報を共有していくのはどうか。
- ・評価ばかりに視点を置かず、質保証するための振り返りの仕組みについて描くほうが良いのではないか。

などと意見が出されたが、本日は時間の都合上ここまでとし、次回の委員会で引き続き検討することとした。

教員の教育力については下記の視点で、次回以降に検討することとした。

- 社会福祉学の専門性とは何か。
- 学位を出すときの専門性とは何か。
- 授業改善モデルに対してどのような教育力を持たないとならないか。
- F Dを活用してどのように教育力を高めるか。

V. 次回の開催日程

日時：平成24年2月13日(月) 10:00～12:00

場所：私立大学情報教育協会 会議室